

■発行 日本会議大阪事務局 大阪市中央区久太郎町4丁目渡辺6号 大阪府神社庁内

TEL 06-6245-5741 FAX 06-6243-1682

E-mail nippon@jp.bigplanet.com

http://nipponkaigi.jp/ ※ホームページのアドレスを変更しました

■各議会で、領土領海を守る法整備を求める意見書、人権委員会設置法案に反対する意見書が決議、議場国旗等掲揚条例の制定が相次ぐ

去る3月23日（金）、堺市議会では3月定例会の最終日に当たり、「わが領土領海を守る法整備を求める意見書」と「人権委員会設置法案に反対する意見書」が本会議で決議された。

続いて3月26日（月）、吹田市議会で議場国旗等掲揚条例が制定、「人権侵害救済法案」国会提出に反対する意見書が採択された。

また3月28日（水）、大阪市議会の3月定例会最終日に自民党市議団で「大阪市内における市会開会時の国歌斉唱の実施に関する決議案」を議員提案したが、自民党だけが賛成で他会派が反対して否決されたが、国旗国歌条例が教育の場だけでなく、議会が率先してその流れをつくろうとの意図があり、このような流れが各議会で議論される弾みになれば、大きな意義があると思われる。

■地方議会が日本再生を発信することを誓った議員懇談会 平成24年度合同総会

去る3月31日（土）の午後、日本会議大阪・神道政治連盟大阪府本部 地方議員懇談会平成24年度合同総会が大阪府神社庁会館5階で開催され、年度末の忙しい中、国会議員4名（うち本人3人）、地方議員38名、神道政治連盟役員及び日本会議会員23名、実行委員11名の76名が参加した。



高野会長の挨拶

今回のメインテーマは「日本再生に向け、保守勢力の結集を！」であったが、混乱する国政に対して地方議会から会派を越えて国家重要課題について発言していく思いを示したものであった。

司会進行は荒木幹男・地方議員懇談会事務局長が務めた。



講演される八木先生

懇談会副会長が行なった。

総会では高野伸生・懇談会会長より日本会議大阪と神政連大阪の地方議員懇談会が一体となった総会開催の意義と我が国が置かれている厳しい状況の中で地方議会の重要性について語られた。続いて来賓の挨拶として柳本卓治・衆議院議員、衛藤恭・日本会議大阪運営委員長、神政連大阪府本部長からの挨拶に続き、北川悟司・懇談会副幹事長からの活動報告、24年度運動方針案を上島一彦・懇談会

幹事長から発表、承認された。その後、閉会の挨拶を木ノ本寛・懇

記念講演では、「女性宮家創設・人権委員会設置法案・領土領海防衛への対応」と題して、八木秀次先生（高崎経済大学教授・日本教育再生機構理事長）が問題点を絞ってわかりやすく解説さ

れた。

皇位継承問題で女系天皇容認の流れは政府部内で平成8年から16年まで検討され、17年の有識者会議報告書となって現在に至っていることを挙げ、政権が自民党であろうと民主党であろうとこの立場は変わっていないこと、また内閣官房参与に就任した園部氏の発言を取り上げ、憲法上の世襲には男系継承の根拠が曖昧であるとか、世襲の解釈を広辞苑の訳を引く等、認識が浅薄であること、旧皇室典範論議の中でも将来における女系継承の可能性を絶つことが明確にされていたことなど指摘された。そして皇族を増やす選択肢は、女性宮家創設だけでなく、いろいろあることを認識する必要があるとされた。

また人権委員会設置法案については、実質的には17年の人権擁護法案の内容と柱は変わっておらず、法案の背景には部落解放同盟およびその関連団体が「人権」を盾に国民生活全般を監視、自分達の意に沿わない言動には人権侵害、差別的言動のレッテルを貼って取り締まる構造であることを指摘された。

続いて懇親会は司会進行が辻淳子・懇談会女性部長が務められ、来賓の挨拶を長尾敬・衆議院議員、北川イッセイ・参議院議員、乾杯の発声を吉田利幸・顧問が行い、歓談、馬場伸幸・懇談会副会長の挨拶で中締めとした。この総会が単に結集するだけでなく、今、ここに集まった議員から立ち上がっていくことを確認する高揚感を感じた。

■30名の子ども達が集まった日本会議大阪泉州支部主催 第5回宮子塾



雅楽の演奏に聞き入る子ども達

子どもたちの春休みももうすぐ終わる4月7日(土)、桜の花の咲き誇る泉州、泉佐野にある奈加美(なかみ)神社の境内で、第5回目の宮子塾を開催し、約30名が集まりました。

今回は、春の陽気のよい時期で、桜の花を見ながら青空の下で塾を行いました。

前半の伝統芸能観賞は、笙(しょう)、箏(ひちりき)、龍笛(りゅうてき)といった雅楽の演奏。子どもたちは、神前に居て趣のある優雅な響きを、快く聴き入っていました。

後半の偉人伝、今回は「神武天皇」。講師の杉本氏が神武天皇の出立ちになって、日本創成の物語を子どもたちに教えました。子どもたちは、はじめて聞く話を不思議そうに聞いていました。学校で神話を教えることがなくなり、祖国の創成の物語も知らない日本人が多数を占める不可思議なこの国。宮子塾をもっともっと広めていかなければならない、と痛感いたします。

[泉州支部事務局次長 以倉孝憲]

■理事一丸となって10周年記念誌を編集している女性の会

日本会議大阪女性の会は、昨年10月29日に開催された義家弘介・参議院議員をお招きして設立10周年記念教育講演会開催、11月16日には東日本大震災で救援活動に従事した陸上自衛隊第3師団に5千羽の折り鶴と寄せ書きを持参して激励活動を展開してきた。

今年に入ってから村上知永子会長の下、一ヶ月に1、回定期的に理事会を開催、約10名の理事が集まり、5月頃の発刊予定の10周年記念誌を編集している。

設立以来、ご講演頂いた先生にメッセージをお願いしたり、新たなに国会議員夫人に役員に就任して頂いたりするなど、全理事一丸となって、会の充実につとめている。

また10月～11月にかけて、300名規模の教育講演会を計画している。

《本会・関係団体行事のご案内》

■第14回憲法シンポジウム

- ・日 時 5月3日(木) 午後2時～4時半
- ・会 場 大阪府神社庁会館5階 大阪市中央区久太郎町4丁目渡辺6号
- ・演 題 「島嶼防衛－われらいかにして守るのか」
講 師 北村 淳 先生(政治社会学博士)
[略歴] 東京生まれ。東京学芸大学卒業後、警視庁公安部等に勤務。平成元年に渡米
ブリティッシュ・コロンビア大学でPh.D.(政治社会学博士)取得。現在、軍事
コンサルタント(米シンクタンク)、サンディエゴ在住。著書に「アメリカ海兵
隊のドクトリン」(芙蓉書房)「米軍の見た自衛隊の実力」(宝島社)「海の生命線」
「島嶼防衛」(明成社)。
- ・参加費 1,000円(正会員以上は無料)
- ・主 催 日本会議大阪 TEL06-6245-5741(担当 丸山)
- ・共 催 関西民間憲法臨調

■沖縄県祖国復帰40周年記念大会ツアー

※お申込みは定員に達しましたので、締切りました。

- ・日 時 5月11日(金)～13日(日)
関西空港出発 5月11日(金)12:25
関西空港到着 5月13日(日)17:20
- ・場 所 ・12日 沖縄県祖国復帰40周年記念大会 [宜野湾市民会館]
・13日 沖縄戦全戦没者顕彰祭 [平和祈念公園内 平和祈念堂]
- ・宿泊先 沖縄ポートホテル TEL098-868-1118
- ・参加費 57,000円(飛行機・宿泊代[ツイン]、懇親会費 込)
※シングルの場合は追加料金として1万円要
- ・募集人員 30名(先着順)
- ・主 催 日本会議大阪 事務局担当 丸山 TEL06-6245-5741

■日本会議大阪北摂支部 平成24年度総会

- ・日 時 5月26日(土) 午後2時～4時半
- ・会 場 茨木市市民総合センター3階302号室 TEL072-624-1726 茨木市駅前四丁目6-16
- ・内 容 総会
- ・参加費 無 料
- ・主 催 日本会議大阪北摂支部 TEL06-6380-1370

■日本会議大阪泉州支部 平成24年度総会

- ・日 時 5月26日(土) 午後2時～4時半、その後、懇親会予定

- ・会 場 **泉井上神社** 和泉市府中町 6-2-38 TEL 0725-44-8182
JR 阪和線和泉府中駅東へ 500m
- ・内 容 第1部 総会
第2部 講演
講師 浅井 周英 先生 (敬円幼稚園園長・「実践の家」理事)
- ・参加費 無 料
- ・主 催 日本会議大阪泉州支部 TEL 072-297-0726

■日本会議大阪南河内支部 平成 24 年度総会

- ・日 時 5月26日(土) 午後2時～4時、その後、懇親会予定
- ・会 場 **道明寺天満宮天寿殿** 藤井寺市道明寺 1-16-40 TEL 0729-53-2525
- ・内 容 第1部 総会
第2部 講演
講師 南木 隆治 先生 (新しい歴史教科書をつくる会大阪事務局長)
- ・参加費 無 料 (懇親会は実費要)
- ・主 催 日本会議大阪南河内支部 TEL 0729-53-2525

■日本会議大阪 平成 24 年度総会

- ・日 時 6月9日(土) 午後2時～4時半
- ・会 場 **大阪府神社庁会館5階**
- ・内 容 第1部 総会 活動報告、新年度運動方針、予算・決算の承認
第2部 講演
演題 「女性宮家創設を巡る問題点について」(仮)
講師 百地 章 先生 (日本大学法学部教授)
- ・参加費 1,000円 (正会員以上の方は無料です)
- ・主 催 日本会議大阪 TEL 06-6245-5741 (担当 丸山)